

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します

当社の現況と今後の展望

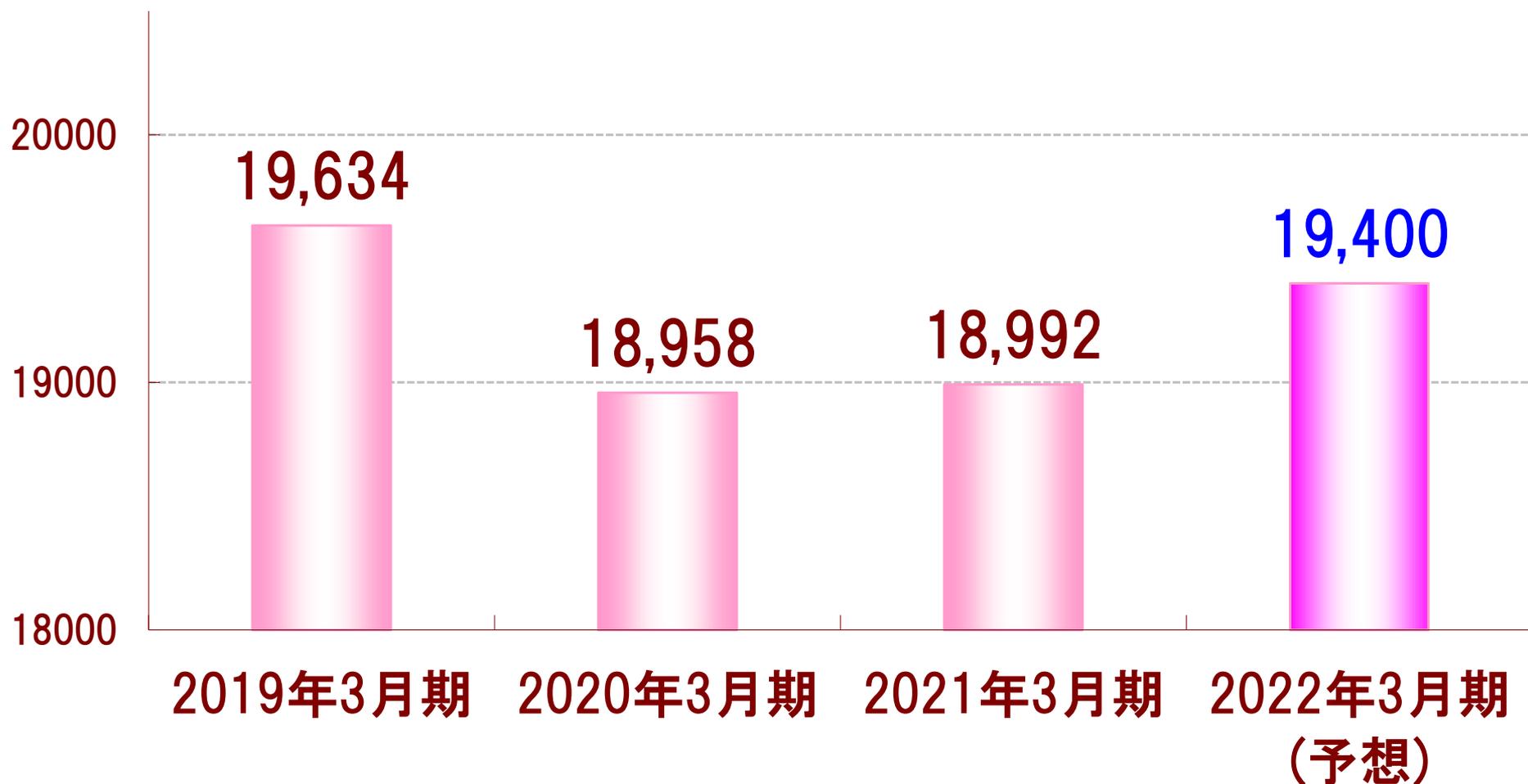
フジ日本精糖株式会社
2021年6月25日

2022年3月期決算の見通し

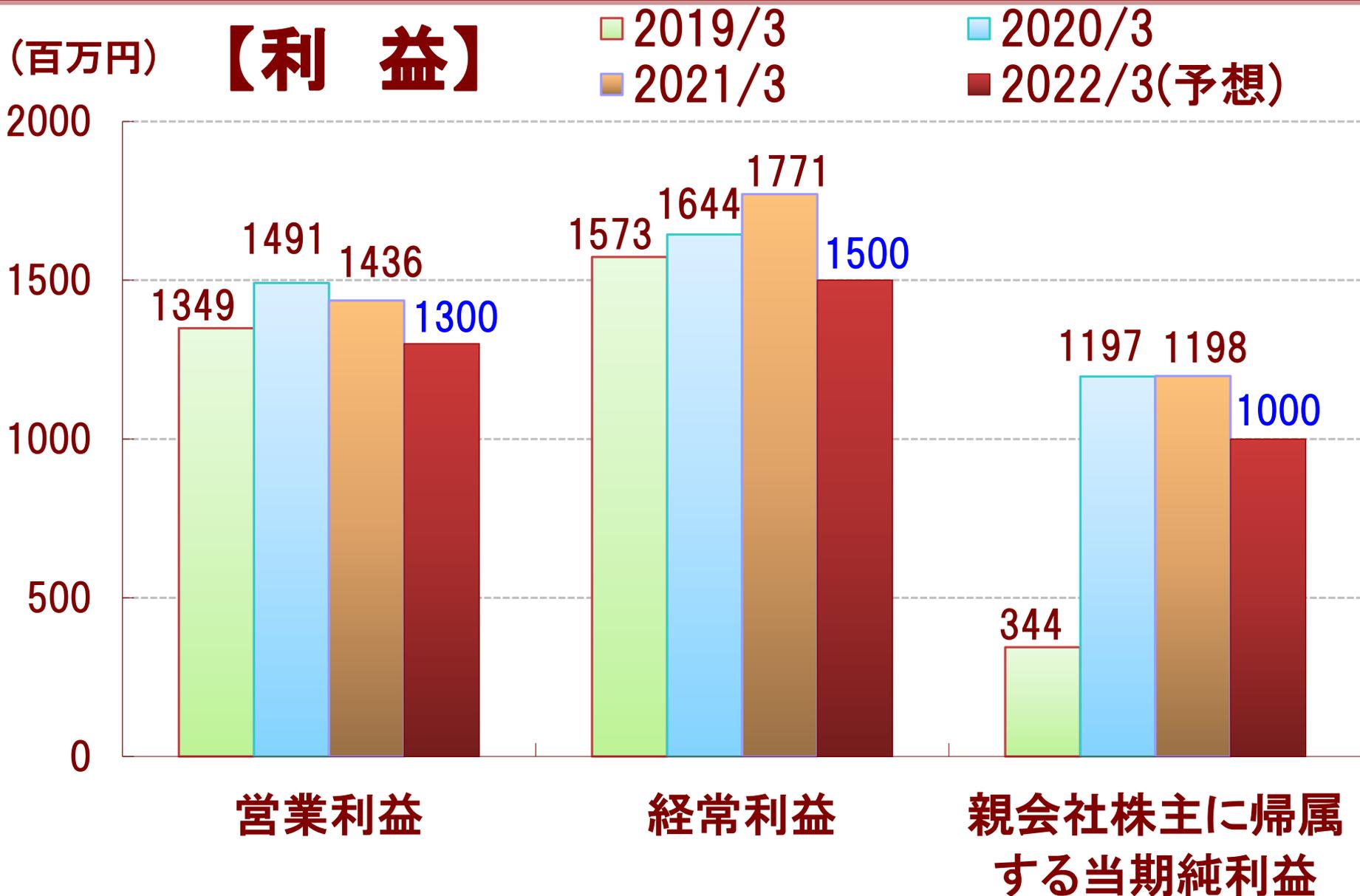
過去3カ年実績と2022年3月期見通し

【売上】

(百万円)

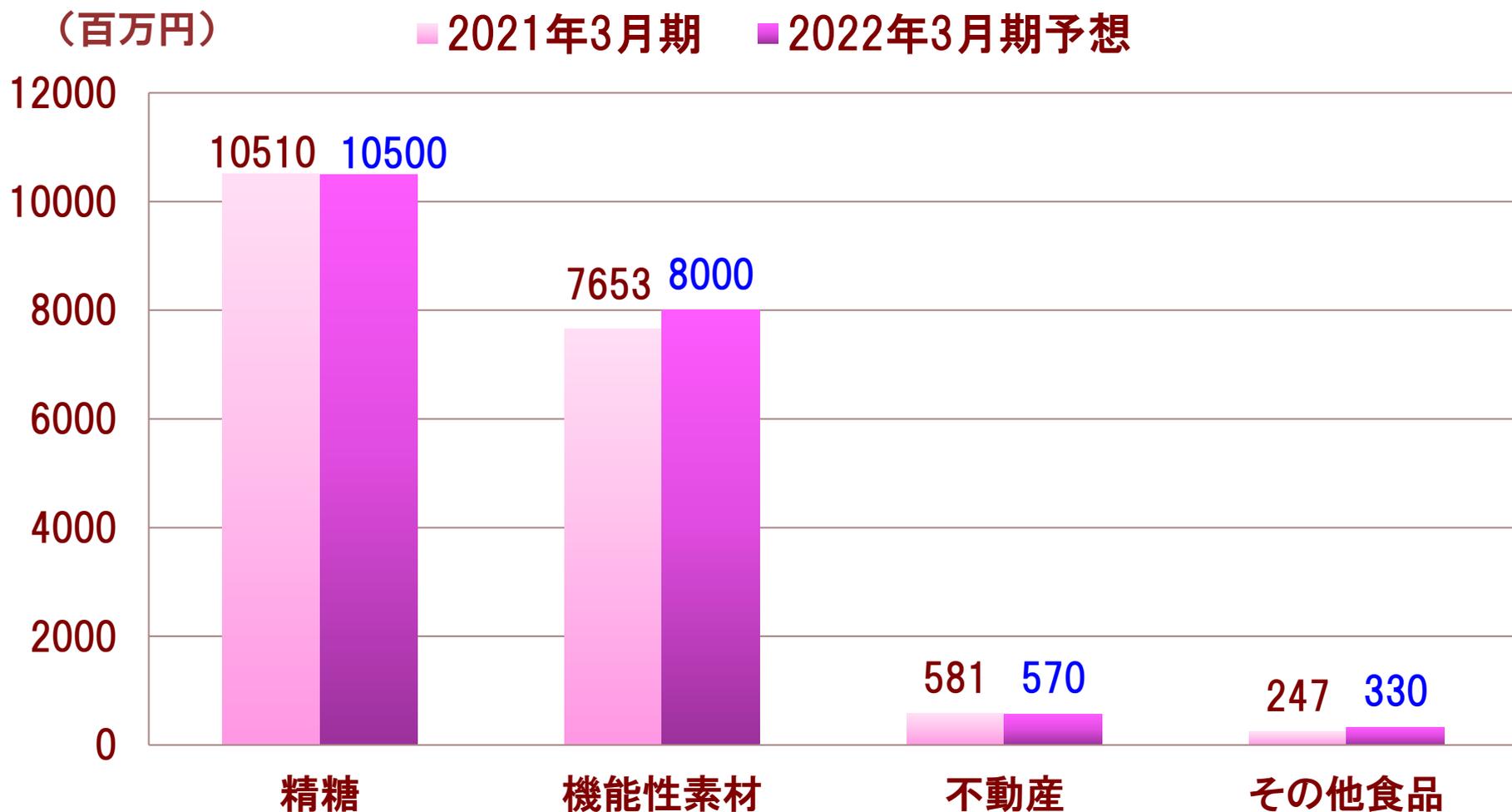


過去3カ年実績と2022年3月期見通し



2022年3月期(99期)見通し(セグメント別売上高)

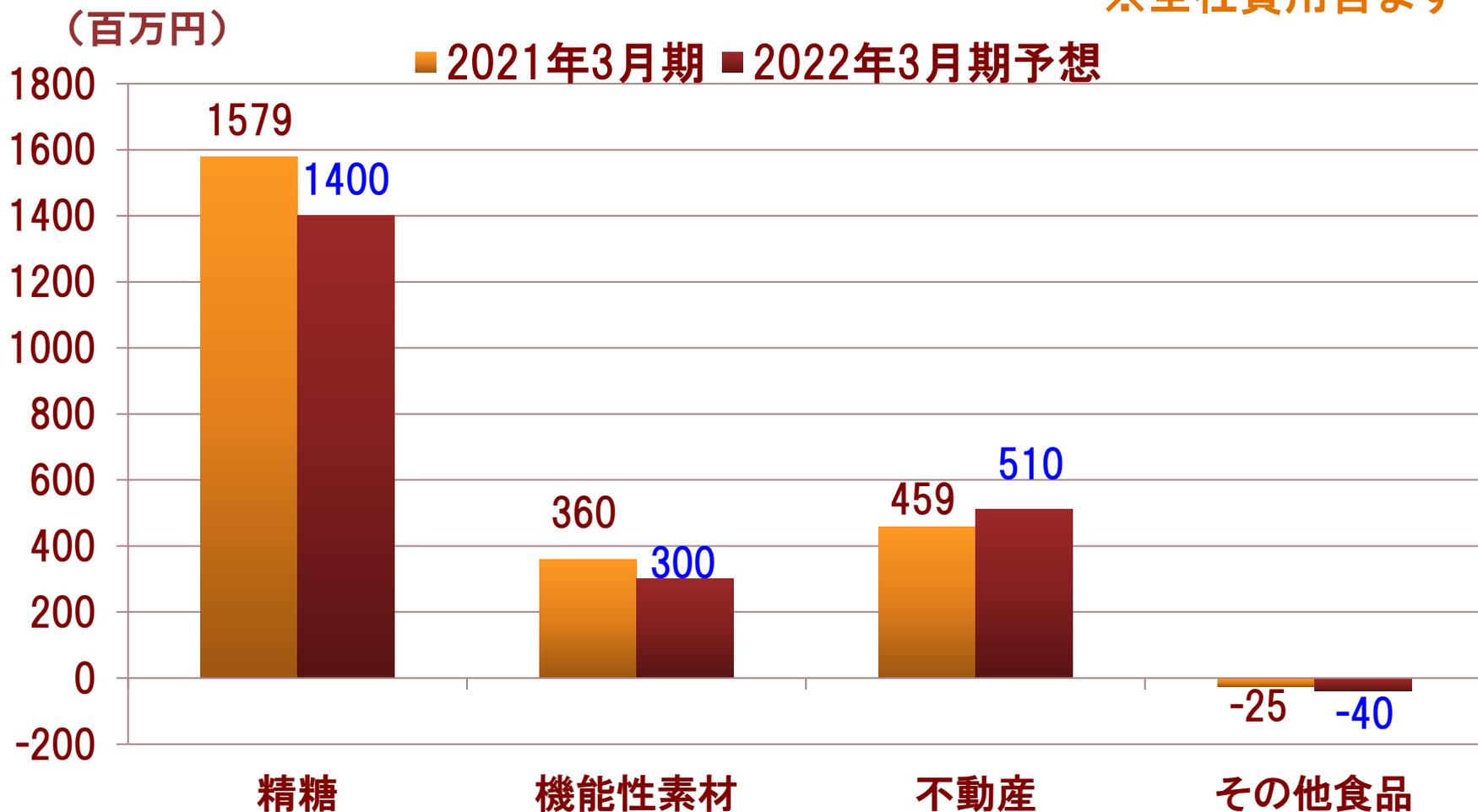
売上高



2022年3月期(99期)見通し(セグメント別営業利益)

営業利益

※全社費用含まず



中期経営計画

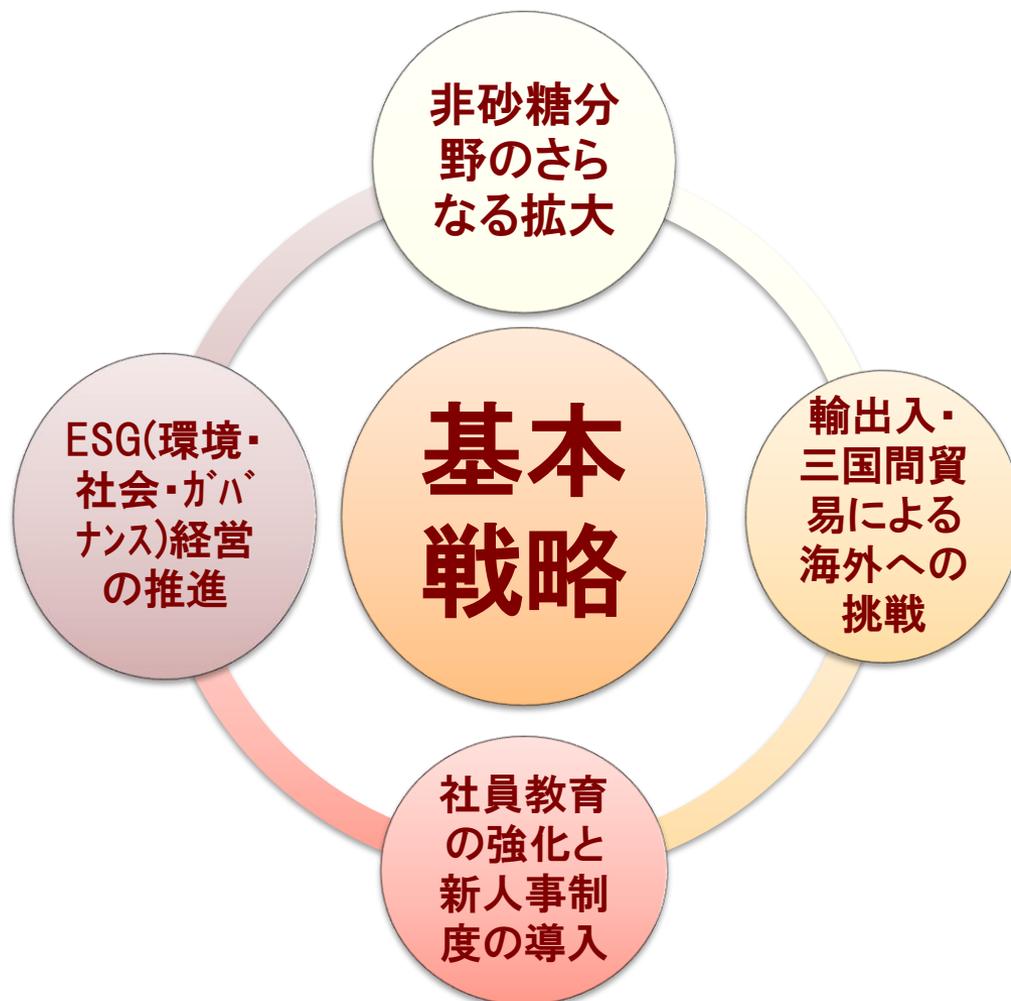
当社グループは97期より「中期経営計画(3ヶ年計画)」
をローリング・ベースにてスタートさせております

単位:百万円

	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	2023年 3月期 (目標)	2024年 3月期 (目標)
売上高	18,992	19,400	20,850	21,670
営業利益	1,436	1,300	1,750	1,910
経常利益	1,771	1,500	1,960	2,120
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,198	1,000	1,450	1,560
ROE(%)	6.8	5.4	7.4	7.5

中期経営計画

事業環境の変化に柔軟に対応し、独自に成長を持続できる会社を目指す



中期経営計画

非砂糖分野のさらなる拡大

- ・ 精糖事業、不動産事業を中核としながら、機能性素材事業を中心に非砂糖分野の成長を実現する。又、連結子会社の業容拡大を促進し、取引商品を増加させる

輸出入・三国間貿易による海外への挑戦

- ・ タイ子会社を中心に輸出、輸入、三国間取引を拡大し、海外事業の成長を加速させる

社員教育の強化と新人事制度の導入

- ・ 2020年10月新人事制度導入。若手社員及び部門間の人事交流や社外への出向等により幅広く活躍できる次世代人材を育成し、同時に管理職のマネジメント能力を向上させる

ESG(環境・社会・ガバナンス)経営の推進

- ・ 事業活動においては、環境負荷の低減に努め、社会支援・地域貢献のさまざまな取り組みを継続し、経営の健全性・透明性を担保すべく企業ガバナンスを高めてゆく

【注意事項】

(新型コロナウイルスの感染拡大に関する影響)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響については、今後の広がり方や収束時期等を確実に予測することは困難ではありますが、当社では生活に直結した食品の販売が中心であるため、新型コロナウイルスが2022年3月期末までに収束するとの仮定のもとに、本資料を作成しております。

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しや目標数値については、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その達成や実現を保証したり、確約するものではありません。

実際の業績は外部環境や内部環境、その他様々な要因によって本資料の見通しや目標数値と異なることがあります。

また、掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報に関しましては、今後予告なく変更することもありますので、予めご了承ください。